



講師も市民、受講生も市民の「市民でつくる健康学部」

なことをやって、徐々に少なくなっていくかといけなはずです。

それぞれの居場所、仕事に趣味に、生き生きと

大木 大和市には趣味を楽しむ場所もたくさんあります。例えば青空縁台将棋。縁台将棋は高知城のふもとなど城下町でやっていたりして、なかなかいいですよ。大和市でやるたびにどこでやるのかなと思いついて、じゃあ大和駅からシリウスまでのプロムナードがいいんじゃないかということ、スタートさせていただきました。大澤先生はさまざまな趣味をお持ちですよ。

大澤 多趣味といっても初めから趣味があったわけじゃなくて、行きがかり上しよるがなくなり始めて、抜けられなくなったというのが本当ですよ。

ゴルフは、弁護士になつてお客さんを獲得するには

健康学部から成る新たな学びの場、そして交流の場です。講師も市民、学ぶ人も市民の、市民でつくる健康学部が大変好評で、ありがたいです。この学部、皆さんとても生き生きとしていらつしやるな、と。講師陣もそうですけれど、聞いているかたがたも、いつか自分もやってやろう、みたいな雰囲気が出されていて非常にいいですね。こういう学部を作って本当によかったと思います。大澤先生にも名誉教授としてご協力い

ゴルフぐらいやらないとだめだと言われてやり始めたんですよ。そうしたら、これは生涯できるなと。私が会員となつている相模カンツリー倶楽部でも、今や80代のかたがメジャー大会で優勝することが珍しくない。ゴルフという競技は70歳を超えても上達します。ハンディキャップがあるから対等にプレーできるので、若い連中と戦って優勝もできれば打ち負かすこともできる。

また、1ラウンドすると1万6千歩くらい歩くんですよ。歩くという意味でもゴルフはいいなと思います。それから俳句は、私が弁護士会の副会長になつたときに、後輩が俳句を詠む会を文化研究委員会という委員会で作らせてもらえないか、と言ってきたのがきっかけです。それで弁護士はそういう文化的な活動も必要だから、と会を作りまして。その際外部から講師を呼んだのですが、挨拶に来

ただいています。**大澤** はい、大変うれしかったです。私は大学の非常勤講師はしたことがあるんですけど、やっぱり教授という名前を冠してもらいたいという人を名誉教授とするわけですから、名誉教授にしてもらって、これはうれしいです。またいいなと思うところは、一般のかたがこの大学の講師になるでしょう。大学の先生である以上、変なことを教えたくないし、勉強していかなくちゃいけない、自分も勉強してちゃんとしたことを教えなきゃ、という気になるじゃないですか。本人にとつてすごくいいことだと思います。

大木 私は講師になつた人、ぜひ「健康都市大学非常勤講師」という名刺を作っていた方がいい、と言っているんです。退職すると、行く場所がない、名刺の肩書きが

てくれ、と言われて挨拶に行つた。それで済むはずだったのに引きずり込まれちゃって、いつの間にか私が責任者になつていたというのが実態です。

また、先ほどお話しした篠笛については、人間国宝のかたが弁護士会に来て演奏会をやられたんですね。そうしたら篠笛を習おうじゃないかという弁護士が出てきて会を作つた。その第1回目は人間国宝の弟子に当たる芸大の先生が来ることになった。僕は文化研究委員会の委員長だから挨拶に、と言われて行つたんです。そうしたら教科書と笛が置いてあつて、心ならずも入れられちゃつたんです。でも練習して「荒城の月」が吹けたときは本当にうれしくて、続けていたらとうとう名取になつてしまつた。

大木 すごくいいですね。趣味の優等生ですね。**大澤** 義理と人情に弱くて、絡め取られちゃつたような

ない、というふうになるんですね。自分の肩書きというのは意外に重要で、自分の居場所を積極的に作つていくエネルギー源にもなると思うんです。例えば本を図書館で読むにしても、読んだ後どこかで発表するとすると読み方にも気合が入る。もつといい講義をしよう、もつと調べよう、と目的が生まれてくるんですよ。そういう意味でも、この学部を作つてよかったなと思います。

また、通常ですと会議室みたいなところで事前申込制でやると思いますが、シリウス4階の健康テラスで、当日自由に参加できるようにしたのもよかつたと思います。シリウスには年間300万人を超えるかたがたが来館されますが、健康テラスはガラス張り、エスカレーターのすぐ近くなので皆さんその前を通るんです。そうすると何かや

たが来館されますが、健康テラスはガラス張り、エスカレーターのすぐ近くなので皆さんその前を通るんです。そうすると何かや



和やかな空気の中、笑顔で語る2人

ものです。でもやって後悔していませんね。ともかく始めたならやめない。俳句の会も笛の会も1回も休んでない。その結果、多少は進歩している。

大木 素晴らしいですね。頭で分かつていても、続けるというのはすごく難しいことじゃないかという気がします。

大澤 習慣だと思えばいいんですよ。歯を磨いているとすれば、意思の力でやろうとすると疲れますからね。あまり大上段に構えず、朝飯前の仕事、いつもの日課を淡々とこなしているとい

と聞いてみようかという形で生徒さん達も集まるわけです。そしてその中から今度自分が講師になろうというかたが相次いで生まれているんだと、これから生まれていくんだろうなと、楽しみにしています。

新年の抱負

大澤 今年も神様のお許しを得て今までどおりのやり方で今までどおりの仕事、それから趣味、そういうものをやっていきたい、やっていかせてくださいと深く祈るばかりです。

あと、健康都市大学、実にいい場所ですから、多くのかたに知っていただいて自分の居場所にしてもらいたいと思います。これはもう本人の考え方だけだろうと思いますが、ここは自分の場所だと、ここをどう生かせるかということも考えてもらおうと、無限にいいも

うくらいの気持ちでいた方がいいと思います。ところで、市長はご趣味はどうですか。

大木 私の場合は先ほど言つたように回遊魚で、強いて言えば仕事が趣味みたいなものですね。仕事が一番面白いです。**大澤** 忙しくて仕事にすべてを捧げてるんじゃないの。でもね、僕も仕事があるから趣味が楽しいんです。子どもどものとき、盗み食いがあったら、盗み食いしたでしよう。正面から食えと言われるより、ちよつと目を盗んで食べる、この分の快感があるんです。仕事をしながら寸暇を惜しんでやるから、趣味も楽しいんですね。

新たな学びの場、交流の場、健康都市大学

大木 大和市は昨年、健康都市大学を開講しました。人の健康学部、まちと社会の健康学部、市民でつくる健

のが得られるんじゃないかなという気がします。

大木 私も同じですね。やっぱり昨年と同じような1年を送ることができかどうか。先ほどから何回も言っているように回遊魚のように毎日やることを確実にこなしていく。今年もそんな1年を送ることができればありがたいな、と思います。



健康都市大学のガイドブックを手

この対談の様子は、FMやまと(77.7MHz)で、1月1日(祝)午前10時から放送します(2日(木)・3日(金)も同時刻に再放送)。